



“植物のチカラ”

《報道関係資料》

NEWS RELEASE

(配布先) 農政クラブ／東商記者クラブ／環境省記者クラブ

2026年2月13日

日清オイリオとキューピーが協働して 油付き PET ボトルの 水平リサイクルの技術検証を実施 ～油付き PET ボトルの資源循環を目指して～

日清オイリオグループ株式会社(本社: 東京都中央区、代表取締役社長: 久野 貴久、以下日清オイリオ)と、キューピー株式会社(本社: 東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員: 高宮 満、以下キューピー)は、2024年5月から、油付き PET ボトルの資源循環の実現を目指して協働で取り組んでいます※1。

長年油に向き合ってきた知見と技術検証を重ねた結果、特定の資源循環スキームにおいて、油付き PET ボトルの水平リサイクルが可能であることを技術的に実証しました。

本成果は 2026 年 2 月 1 日発行の「日本包装学会誌 Vol.35, No.1, p.57–67, 2026」に掲載されました。

※1 [2024年5月23日付 ニュースリリース参照](#)



[画像ダウンロード](#)

【検証の背景と目的】

日清オイリオ、キューピーはいずれも、保存性に優れ、取り扱いが容易で、中身が見える PET ボトルを多く用いています。

飲料や酒類、しょうゆなどの PET ボトル(指定 PET ボトル※2)は、使用後に回収・洗浄され再生材料となり、PET ボトルへ戻す水平リサイクルが進んでいます。一方、食用油やドレッシングなどの油付き PET ボトルは、付着した油を再生工程で充分に取り除くことができず、再生 PET ボトルの品質に、におい移りや着色などの悪影響を与えることが懸念されていました。そのため、使用後は主に燃やしてエネルギー源として活用されており、食品用のボトルとしてのリサイクルはされていません。これらをリサイクル原料として利用可能にし、循環型社会の実現に貢献するため、油付き PET ボトルを使った実機でのリサイクル試験と再生 PET ボトルの評価を実施しました。

※2 指定 PET ボトル：使用済み PET ボトル単独のリサイクルに支障のない内容物が充填された PET ボトル。具体的には清涼飲料、酒類、乳飲料、しょうゆ、食酢、ノンオイルドレッシングなどに使われたボトルで、廃棄時には他と区別して収集、リサイクルされています。国から指定表示製品(PET ボトル)として指定され、専用のマークが付けられています。



指定 PET ボトルのマーク

【検証の概要】

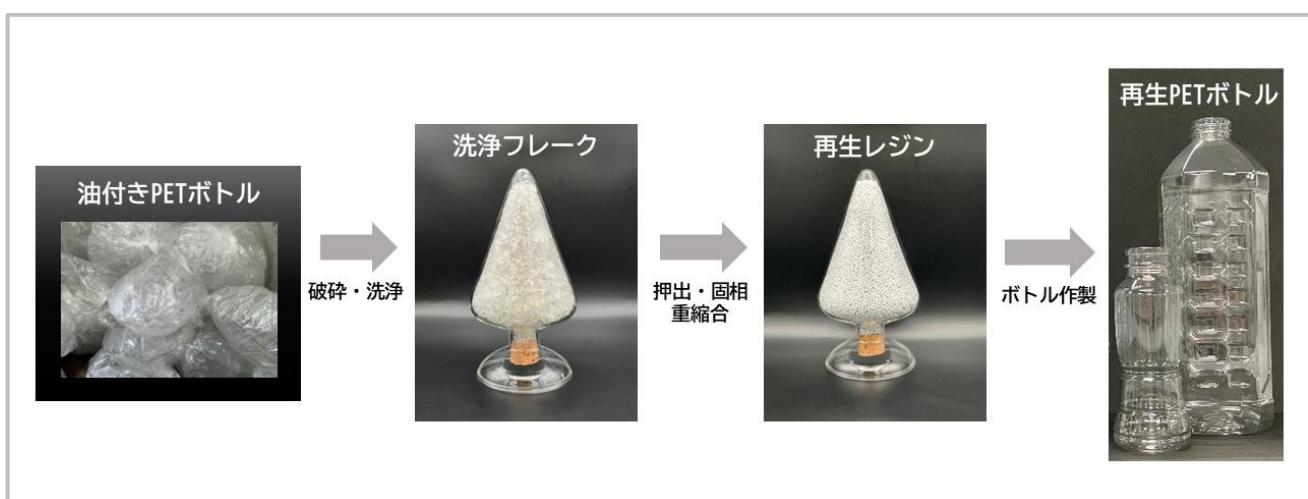
サンプル：日清オイリオとキユーピーの工場で充填後に検査等で排出された油付き PET ボトルを用いました。

方 法：特定のリサイクラーの実機にて、油付き PET ボトルを破碎・洗浄してフレークを作製し、このフレークから PET ボトル原料となるレジンを作製しました。さらにそのレジンを使用し、再生 PET ボトルを試作しました。

実機テストにより得られた洗浄フレークと再生レジン、および試作した再生 PET ボトルについて評価を実施しました。指定 PET ボトルの自主設計ガイドライン^{※3} の評価項目の検証に加え、ボトルの寸法や強度評価、製品へのおい移りなどの保存性評価、油・ドレッシング由来成分の分析等の評価を実施しました。

結果：油付き PET ボトル由来の再生材料は、IV 値や色などが指定 PET 由来の再生材料と同等の品質であり、これを用いて作製したボトルは、寸法や強度に問題はなく、懸念されていたにおい移りや着色もないことを確認しました。

※3 自主設計ガイドライン：指定 PET ボトルを、使用後の再処理、衛生性を含めた再利用適性に優れた容器とするために、PET ボトルリサイクル推進協議会がボトル、ラベル、キャップ等について規定したガイドライン。



油付き PET ボトルのリサイクル工程

[画像ダウンロード](#)

【今後の展望】

今回の研究により、特定のリサイクラーで処理することにより、これまで 2 社の工場で排出されていた油付き PET ボトルの水平リサイクルが可能であることが明らかになりました。今後、この資源循環スキームを他のリサイクライヤーもしくは油を使用する食品メーカー、容器メーカー、自治体等との取り組みに広げ、さらには行政や他業界のご理解を得て、社会全体における資源循環の実装を目指していきます。

【掲載誌】

タイトル：食用油、ドレッシング PET ボトルの物理的再生法による再生材の品質評価

著 者：平野尚美¹⁾、守矢大介²⁾、岸健汰¹⁾、白澤聖一¹⁾、松岡祥郎²⁾、和手憲幸²⁾

[1) 日清オイリオグループ株式会社 2) キューピー株式会社]

雑 誌：日本包装学会誌 Vol.35, No.1, p.57–67, 2026

【会社概要】

■日清オイリオグループ株式会社

代表者: 代表取締役社長 久野 貴久

所在地: 〒104-8285 東京都中央区新川一丁目 23 番 1 号

売上高(連結): 5,308 億 78 百万円(2025 年 3 月期現在)

従業員数(連結): 3,078 人(2025 年 3 月 31 日現在)

事業内容: グローバル油脂・加工油脂事業、油脂・油糧および加工食品・素材事業、ファインケミカル事業

日清オイリオ ニュースリリース

<https://www.nisshin-oillio.com/company/news/>

■キューピー株式会社

代表者: 代表取締役 社長執行役員 高宮 満

所在地: 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-4-13

売上高(連結): 5,134 億 17 百万円(2025 年度)

従業員数(連結): 10,773 人(2025 年 11 月末現在)

事業内容: 「マヨネーズソース」その他一般ソース類の製造販売 等

キューピー ニュースリリース

<https://www.kewpie.com/newsrelease/>

リリースに関するお問合せ先:

日清オイリオグループ株式会社 広報部

TEL: 03-3206-5109 〒104-8285 東京都中央区新川一丁目 23 番 1 号

キューピー株式会社 広報部 稲垣・森田

TEL: 03-3486-3051 E-mail: pr@kewpie.co.jp

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-4-13

※キューピーのユは大文字を使用しています。